

福岡県とバンコク都との友好協力関係の更なる強化に向けた覚書

日本国福岡県とタイ王国バンコク都は、2006年2月8日に友好提携を締結して以来、経済、環境、文化、教育、観光、青少年など幅広い分野で交流を積み重ね、目覚ましい成果を上げてきた。

この友好提携を契機に、両地域の交流が活発化し、2010年10月には、両地域をつなぐ活動拠点として、福岡県バンコク事務所が開設されたところである。

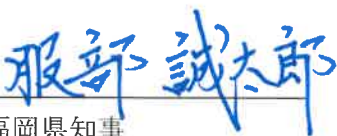
2012年2月10日には、青少年交流の積極的な推進や、環境分野における人材育成交流などに合意し、さらに、2017年2月21日には、高齢者施策分野での交流に取り組むことに合意するなど、新たな取組により関係を深化させてきた。

この度、友好提携15周年の記念すべき年に、福岡県とバンコク都は、両地域並びに日本とタイ王国両国の今後の更なる発展と連携強化を目指し、新たに、未来の経済発展や社会変革に貢献するアントレプレナーシップを持つ人材の育成に相互に協力して取り組むことに合意する。

この覚書は、2023年1月13日にタイ王国バンコク都において、日本語、タイ語及び英語でそれぞれ2通作成され、署名の日から効力を生ずる。なお、言語の解釈に相違が発生する場合は、英語版の解釈に依るものとする。

日本国福岡県

タイ王国バンコク都



福岡県知事
服部 誠太郎



バンコク都知事
チャチャート・シティパン